

Bluetooth再生でもハイレゾ相当の音に復元する

スマホや携帯音楽プレーヤーで再生した音楽をBluetoothで転送して楽しめる、ワイヤレスヘッドホンが人気を集めている。気になっている人も多いだろう。ワイヤレスヘッドホンは、煩わしいケーブルを排したことで、快適に使用できる。しかし、そのトレードオフとして、Bluetoothモデルでは音質の劣化が避けられないといわれてきた。というのも、Bluetoothで音楽を送る際には、データを圧縮することで一部の信号が失われてしまう。加えて、伝送時に多少の雑音が入ったり、遅延が生じたりすることも多いのだ。

この問題に、長年培われた高度なオーディオ技術を誇るJVCが取り組み、高音質化ワイヤレスのための技術を開発した。それが、Bluetooth再生でも高音質で再生できる「K2 TECHNOLOGY」だ。この技術は、Bluetooth伝送時に失われたデータを推定して、元の音源と同じように復元するというもの。「ハイレゾ相当」の情報量で再現できるのは驚きだ。

今回紹介する「K2 TECHNOLOGY」搭載ワイヤレスモデル4機種はいずれも个性的で、選ぶ楽しみも感じられる。ワイヤレスでも妥協することなく、毎日の音楽を高音質で楽しもうではないか。耳が喜ぶはずだ。



私が試しました！
AVライター
野村ケンジさん
年間で100本以上のヘッドホン・イヤホンを試聴。その的確な分析と評論には定評がある。

いま買うなら JVC「K2 TECHNOLOGY」搭載の 高音質ワイヤレスで決まり!

人気のヘッドホン・イヤホン各シリーズから、高音質なBluetoothワイヤレスモデル4機種が11月に一斉発売。さあ、君が選ぶのはどれだ!



撮影/高原マサキ (TK.C)
モデル/中嶋タカシ

野村'sインプレ
重低音だけでなく中高域の表現も丁寧
迫力の重低音が楽しめることで人気の「XX」シリーズですが、中高域も丁寧に表現できているのが本機の特徴。スピード感たっぷりの、聴き心地の良いサウンドが楽しめました。武骨なデザインながら、女性にもオススメしたいです。

AAC aptX 対応
NFC 搭載
連続再生 約8時間

HA-FX99XBT

実売価格2万6870円

高音質な重低音を楽しめる「XX」シリーズの、ネックバンド型ワイヤレスイヤホン。ハイレゾ対応の高磁束高磁気ネオジムマグネットドライバーユニットを搭載し、クリアでキレのある音を鳴らす。ハード素材のバンドはデザイン性も高い。

←SOUNDボタンは「K2」と「Bass Boost」を切り替え可能。後者では、より低音が強化される

←首回りはフィット性の高いエラストマー素材を採用。高級感も十分

重低音を楽しむならコレ

AAC aptX 対応
NFC 搭載
連続再生 約7時間

SOLIDEGE HA-FD70BT

実売価格2万6870円

独自の「トップマウント構造」を採用した、ネックバンドタイプのワイヤレスイヤホン。メタル素材やレーザー素材をアクセントにした、シンプルで一体感のあるデザインだ。高剛性ステンレス素材が不要な振動を抑え、キレのある音を鳴らす。

←合皮製のネックバンドはSU-ARX01BTと同様。再生や音量調節、「K2」ボタンなどを備える

クリアサウンドを楽しむならコレ

ベストポジションに固定されるため快適
独自の「トップマウント構造」は、耳穴のベストポジションに固定できて快適。動きのなかでも気にせず使えるのがうれしいです。耳の奥にドライバーユニットが固定されることで、しっかりと音が響き、繊細な音を楽しめます。

↑超小型ユニットを耳奥に挿し込んで固定できる。装着感が良好だ

AAC aptX 対応
NFC 搭載
連続再生 約20時間

SOLIDEGE HA-SD70BT

実売価格2万9030円

質感の高いアルミボディやステンレスハンガーが特徴的な、ソリッドなデザインのワイヤレスヘッドホン。ハイレゾ対応の40mmドライバーがキレのある低音再生を実現する。伝搬速度に優れたチタンコート振動板により、中高域も鮮やか。

↑シンプルだが存在感は十分。スーツにもカジュアルでもマッチする

スタイリッシュにヘッドホンでキメるならコレ

メリハリの効いた聴き応えのある音
有線モデルと同じく、メリハリの効いた元気で聴き応えのあるサウンドが魅力。低域はしっかり出ていますが、中高域もよく聴こえるバランスの良い音です。低音を不自然に強調したいゆる「ドンシャリ」が苦手な人にもオススメ。

←右ハウジング下部に「K2」ほか操作系統を集約。通話/音楽再生の切り替えもワンタッチだ

CLASS-S
AAC aptX 対応
NFC 搭載
連続再生 約7時間

SU-ARX01BT

実売価格2万3630円

手持ちのMMCX端子採用ワイヤードヘッドホンをワイヤレス化する、Bluetooth対応レシーバー。スマホや携帯音楽プレーヤーでBluetooth再生した音楽を受信し、「K2 TECHNOLOGY」で高音質化して再生する。

↑バンドはやや固めでフィット。シンプルなデザインだが質感は高い

MMCX端子着脱イヤホンを
お持ちの方はコレ

どのイヤホンでも完成度の高いサウンド
レシーバーとしての完成度は非常に高く、SBCからaptXまで高音質で楽しめました。同社のハイエンドシリーズ「Class-S」の製品ですが、それ以外のイヤホンでも良い音が聴けます。スマホ再生でも音楽の楽しさが味わえる一台です。

編集部はココに注目!
独自のダクト配置により深みのある重低音を実現
ハウジング内部のダクトを渦巻状に配置する「XTREME トルネードダクト」を採用。小型デザインと、深みのある重低音再生を両立する。

←筐体にはダクトの出口がある。イヤホンとしては極太のダクトで迫力のサウンドを実現する

編集部はココに注目!
キレのあるドラム音や締まったベース音を堪能
無垢削り出しのステンレス製ボディは、コンパクトながら剛性が高い。キレのあるドラムサウンドや、締まったベース音を鳴らしてくれる。

←小型で耳穴に収まる形状。ハイレゾ対応チタンコート振動板を採用し、繊細な音を楽しめる

編集部はココに注目!
スリール構造により外での持ち運びに便利
筐体は軽量コンパクトな設計で、しかもスリール構造を採用。バッグにも収納しやすいため、気軽に外出先へ持ち出して音楽を楽しめる。

←スリムに折りたたみが可能。付属の専用ケースに入れば、バッグに十分収まるサイズに

編集部はココに注目!
汎用性の高いMMCX端子を採用
メーカー推奨は同社のハイエンドイヤホンだが、汎用性の高いMMCX端子採用なので、手持ちのイヤホンで聴き比べするのも楽しみが広がる。

←MMCX端子を備える有線イヤホンに付け替えることで、手軽にワイヤレス化できる